

第39回 成沢ふれあい夏祭り



3年ぶりに開催!



発行 成沢学区コミュニティ推進会
「ふれあい」
責任者 西 英信
発行者「成沢ふれあい」広報部
印刷所 日立高基印刷機
TEL35-3511

令和4年7月23日
(土) 成沢学区コミュニティ推進会「ふれあい」主催の「夏祭り」が成沢小学校校庭で実施されました。

昨年まで新型コロナウイルス感染症の影響で2年続けて中止になり、今年は3年ぶりの開催となりました。実行委員会主導の下に多くの方々の協力で会場の設営や運営準備が進められました。

開始直前に急な夕立に見舞われ、30分遅れて時刻4時30分に「ふれあい」西会長の挨拶で開会しました。

前半は模擬店とステージでのショー、子どもみこしで盛り上がり、後半は盆踊りと抽選会が行われました。踊りの輪には多くの家族連れや若者が加わり、抽選会でも大きな歓声に沸きました。

予定通り午後8時に終宴となりました。
(関連記事2面へ)

お元気さん紹介⑪ 中成沢町 多田 徳二さん

「人生百年時代を二人で生きる」



徳二さん (84歳)の朝は、庭の畑の手入れから始まります。

これらの普段の活動が意のままに行えるのは、常陸太田市亀作町で生まれ、仲の良い8人兄弟の中で育ち、親から貰った病氣知らずの身体と、職場の同僚の縁で結ばれた優しい奥様の内助の功があったとのことと感謝です。

ナスやキュウリなどの夏野菜は自慢の糠漬けに姿を変え、この猛暑の夏を健康に過ごす食卓のおかずの中心でした。以前は毎年、収穫したスイカで近所の子供たちとスイカ割りを楽しんだのが懐かしいとのこと。この十年で7百匹に増えたメダカに朝夕2回の餌やりも楽しみです。

毎週、同好会のグラウンド・ゴルフに興じ、毎月、「湯遊会」(OB会)の仲間との風呂やカラオケでの交流は欠かせません。交流センターでは「剣詩舞」の指導と賀詞交歓会や文化祭などでの演舞披露を続けてきました。

シルバー人材センターで習得した植木剪定の技術は、今でも地域の依頼に応えつつ、交流センターの生垣の手入れや年末の門松作りに活かしています。

現在の夫婦二人住まい。健康寿命を保ち「車の運転をあと3年は続ける」ために心がけていることは「自然体」。好き嫌いなく食べ、体を動かし、昼寝を含め充分睡眠をとる。焼酎のオンザロックでの晩酌は至福のひとときです。

ご夫婦の目標「共に百歳まで」の達成を祈ります。



賑わった模擬店・子どもみこしも大人気



会場の成沢小学校の校庭にメインステージが設置され、イベント全体を進行しました。天気も回復する中、30分遅れて午後4時30分から瀬谷実行委員長の司会で「成沢ふれあい」西会長の



挨拶で祭りがスタート。開始前から準備してきた青少年育成推進会や成子連などの模擬店コーナーでは早々に家族連れなどが訪れ、そばやホットドッグ、かき氷を求め、的当て、ヨーヨー



などのゲームも人気を集めていました。飲み物や花などの地元商店の店も人だかりができていました。模擬店やステージ広場の横には休憩所が設けられ、賑やかに飲食、談笑を楽しんでい



会場では子どもたちの浴衣姿も目立ち、華やかさを添え、近くの介護施設の入居者とスタッフの皆さんも楽しんでおられました。メインステージでの演技では外部から招いたバンド



ました。ブルーアートは今年も大人気でした。



2組による賑やかな演奏が行われ、鮮やかな手さばきの演芸に場内からは大きな拍手や歓声が響きました。その後、中央の広場では子どもみこしが行われ、小さい女兒たちも加わって場内を元氣よく3周し、大きな声援を受けていました。



踊りに抽選会に3年ぶりの熱気!



6時から目玉の盆踊り。成沢芸能保存会のお囃子から始まり、成沢音頭が流れる中、旧婦人会有志の皆さんの先導で盆踊りがスタートしました。次第に模擬店や休憩所、見学の人たちも加わり、大きな踊りの輪が広がっていきましました。久しぶりの踊りとあつて、浴衣姿の女性や年少の子どもたちの参加もあり、華やかなひと時となりました。

踊りの後、7時30分からはお楽しみの大抽選会が始まりました。3等から特等まで、数多くの賞品が用意され、地元のお店からは特別賞が提供されました。ステージ前には抽選券を手に多くの参加者が集まり、抽選番号が読み上げられるたびに大きな歓声とため息が上がっていました。雨のため例年より進行を早め、8時にすべてのイベントが終了しました。翌日24日(日)は朝からステージやテント、テーブル・イスなどの解体、撤去が行われ、全て作業の終了後に、交流センターで反省会・慰労会が行われました。

今回の行事は計画・実行された夏祭り活動部を中心とする実行委員会の役員、お囃子と成沢音頭の歌唱で踊りをリードされた成沢芸能保存会と旧成沢婦人会の皆さん、模擬店の運営や防犯・防災、会場と山側団地間のシャトルバス運行など、多くの方々の協力で盛況裡に終了することができました。



3年ぶり開催!あれこれ

◆3年ぶり開催の上、コロナ未収束の状況の中、夏祭り実行委員会は前日まで開催の可否を思案しました。各支部役員などとの協議を経て、感染防止に最大の配慮を織り込み開催を決定したとのこと。反省会で瀬谷委員長は「参加者の笑顔を見て、開催して良かった」と語っています。

◆開会直前、猛烈な夕立に見舞われました。ステージの床やテント内のテーブルは水浸しになり、スタッフ、出演者が総出で水掃きすることに。30分後には雨が止み、祭りが開始されました。開会直前には青空が拡がり、ご褒美かのようにきれいな虹が立ちました。

◆当日午前の準備と翌日の片付け作業は暑さとの闘いでした。日陰での休憩と水分・塩分の補給などに配慮、梅干しが超人気でした。



夏休み子ども講座 思い出作りに挑戦!

工作教室 斉藤直子先生

コミュニティ連携講座

8月2日(火)、成沢交流センターで生涯学習部主催の工作教室が開催されました。今回は「ひたちち生き生き百年塾」との連携講座として企画し、市民教授に登録の斉藤直子先生の指導で牛乳パックを使って「ひつ



くり箱」を作りました。親子で合計17名が参加、先生のお手本を見ながらハサミやテープ、のり、色紙などを使って箱を作りまし

た。中には輪ゴムをバネにしたパックの切れ片を重ねて入れ、ふたを開けると一気に飛び出す仕掛け。参加者は苦労しながらも楽しく作業していました。箱の装飾は人によってそれぞれ違い、個性が表れ、夏休みの工作としても面白い作品が完成しました。

絵画教室 入江英子先生

8月3日(水)には、成沢交流センターで、小学生を対象とした恒例の「絵画教室」が開催されました。

14人の参加があり、入江英子先生の指導で各自が自分の好きな用紙、絵の具を用いているいろいろな絵を描きました。中には学校の課題で交通安全、火災予防のポスターを描いた人も...

「ひたちち大好きパスポート」(日立市の小中学生は全員持っている)にイベントの参加印を押してもらい、「ひたちち大好き博士」に一步近づきました。

地域の話題

助川山で昆虫採集会

7月30日(土)、助川山で日立シビックセンター科学館主催の「チャレンジ自由研究く昆虫採集」が実施されました。

夏休みの小学生親子を対象に昆虫採集をする企画で、市外や県外からを含め12組の親子が参加しました。助川山の説明、昆虫の一般的な説明を受けた後、昆虫採集をしました。

オオシオカラトンボ、アブラゼミ、ニイニゼミ、バッタ、イナゴなど、たくさんの種類の昆虫を捕まえることができました。オタマジャクシやカナヘビを捕まえた人もいました。途中でオオムラサキ(国蝶)を発見し、一同大感激のひと時を過ごしました。



敬老会、町民体育祭 今年も中止に!

●市主催の敬老会は昨年引き続き開催が見送られました。昨年同様、該当者には「高齢者応援事業」として地域振興券や防災グッズなどが贈られます。

●9月28日(土)に開催予定の町民体育祭や、鮎川探勝会も諸般の状況を考慮して中止になりました。

9、11月の行事予定

- 10月29日(土)～30日(日) 文化公演会・文化祭
- 11月18日(金) 防災訓練(成沢小と合同)

編集後記

▼3年振りに夏祭りが開催されました。コロナと向き合い、主催者と参加者全員の協力の成果と喜びたい。

▼猛暑後のこれからは台風や水害に警戒が必要です。